

## 2017年度 福島県学校司書配置状況アンケート結果の概要

学図研福島支部では、2017年12月～2018年3月に、福島県下59市町村教育委員会に、郵送・FAX・電話にて学校司書配置状況について調査を行い、57市町村から回答を得た。以下に、その概要をまとめた。

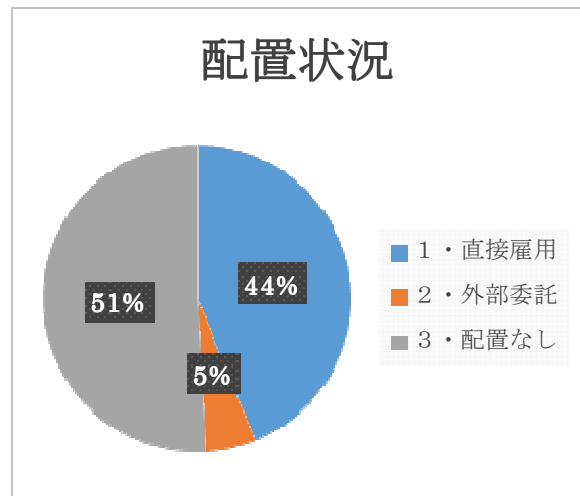
### 1 学校司書 配置の有無

#### (1) 配置状況

直接雇用……25市町村  
外部委託…… 3 〃  
配置なし……29 〃

#### <市町村別の配置状況>

市	12 / 13	92%
町	11 / 31	35%
村	5 / 13	38%



#### (2) 配置のある市町村

<市> 福島市、伊達市、二本松市、本宮市、郡山市、須賀川市、白河市、相馬市、南相馬市、いわき市、喜多方市、田村市  
<町> 川俣町、桑折町、国見町、三春町、矢吹町、矢祭町、猪苗代町、柳津町、只見町、大熊町、会津美里町  
<村> 大玉村、玉川村、平田村、西郷村、中島村、

#### (3) 外部委託先

喜多方市・田村市……TRC（図書館流通センター）  
会津美里町……会津美里振興公社

※ 福島県全体で、約200名の学校司書が配置されている。

平成25年の学校図書館法改正以降、配置が進んだ。

※ 配置・配置なしの数は半々だが、市町村別でみると人口の多い市に偏っている。市の9割と町村の約1/3には配置がある。

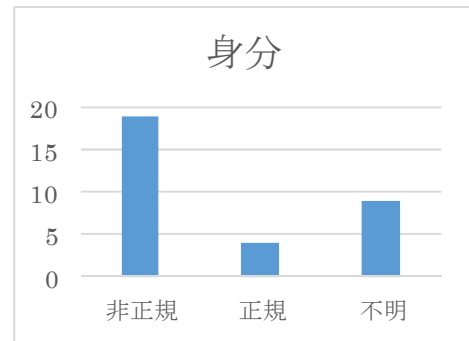
## 2 雇用形態（配置28市町村中）

### （1）身分

非正規…19 正規…4 不明…2

### （2）契約期限

1年…12 6カ月…2 不明…9  
その他…1



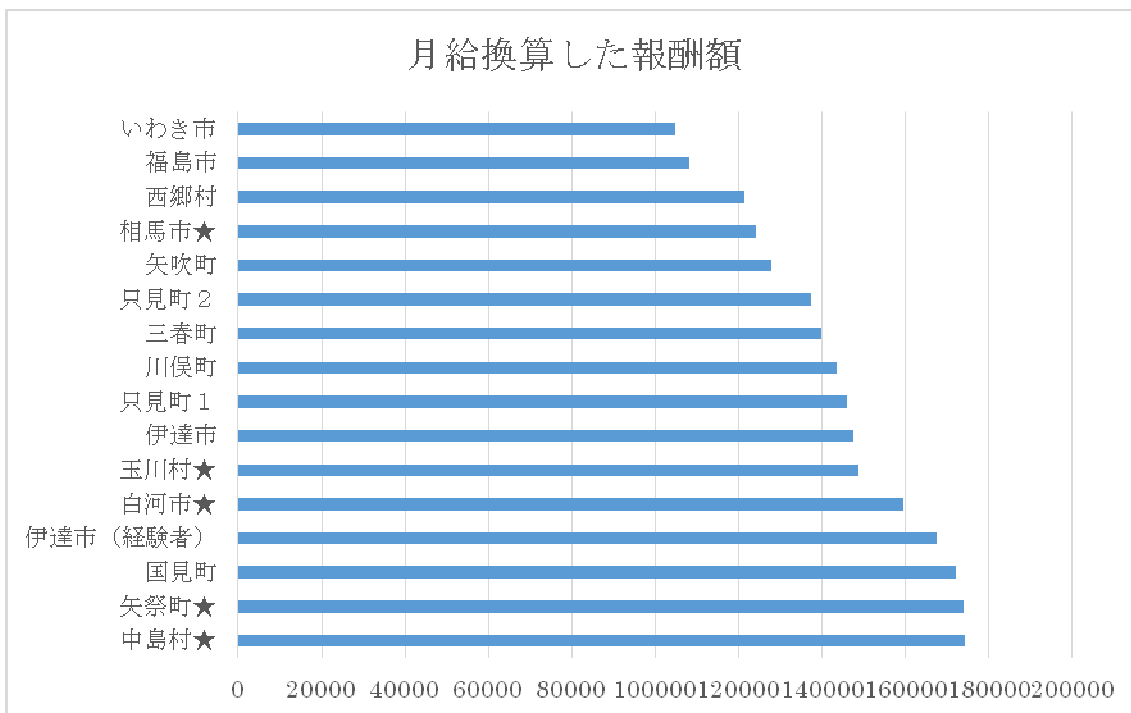
### （3）報酬

回答のあった15自治体の報酬金額を、月給換算で比較した。

月給制の自治体には★を表記した。それ以外は時給・日給を元に、以下の数値を用いて機械的に換算したものであるため、実際の金額とは異なる。また、手当や賞与、税金などは考慮していない。

時給の場合 時給×週の勤務時間×（一か月）4.35週

日給の場合 日給×月20日勤務



※ 身分は非正規が多く、雇止めもある。雇用は不安定である。

※ 月給換算した報酬額の平均は、143,581円であった。年収換算で約172万円。

国税庁の発表した給与所得者の年間平均給与は422万円（男性521万円、女性280万円）よりも大きく下回る。（平成28年分民間給与実態統計調査結果より）

※ 報酬額が最も多い174,200円（中島村）と少ない104,956円（いわき市）の間には、（実際の報酬額ではないが）約7万円という大きな賃金格差が見られた。

### 3 勤務形態

(1) 専任・兼務 (101名中)

1校専任……12名

2校兼務……18名

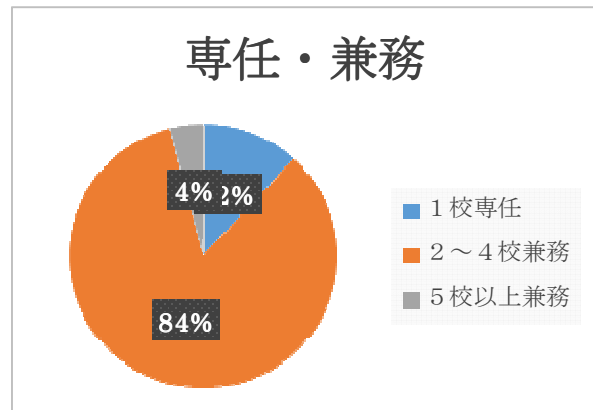
3校兼務……21名

4校兼務……4名

5校兼務……1名

8校兼務……3名

2～4校兼務……42名 (いわき市)



(2) 勤務日数 (17市町村中)

週5日……15

週4日……2

※ 勤務日数は週5日で、1日の勤務時間は7時間以上と答えた自治体が多かった。

※ 2～4校の複数校兼務が多い。日替わりで違う学校で勤務することは負担が大き  
く、十分な教育効果があげられるとは言い難い。

※ 1校専任の司書がいると回答した自治体は、桑折町、国見町、三春町、矢祭町、只見町、相馬市、南相馬市、大熊町。郡山市にも1校専任司書がいるが数は不明。

### 4 専門性

(1) 応募要件 (回答19市町村中)

司書……7

学校司書……4

経験者……1

不問……6

(2) 研修の機会 (回答17市町村中)

0回……5

1回……4

2・3回……3

5・6回……2 (須賀川市、矢吹町) 10回以上…2 (福島市、いわき市)

(3) 司書連絡会 (回答14市町村中)

なし…12

6回…1 (伊達市)

12回…1 (南相馬市)

(4) 支援センター (回答17市町村中)

なし……14

あり……3 (玉川村、白河市、只見町)

※ 応募要件として司書・学校司書の資格を問わない自治体も多く、研修や連絡会により専門性を高める機会も少ない。学校司書の専門性を高める取り組みが必要である。